

さくらタイムス令和7年2月号

お題は「千金買笑（せんきんばいしょう）」です。唐代詩人杜甫（とほ）が、「友人との再会で得る笑顔や喜びは大金を使う以上の価値がある」という内容の詩を詠んだことに由来し、物質的な価値よりも精神的な豊かさや人とのつながりを重視する姿勢と、金銭では測れない価値あるものへの深い敬意を示す表現とされています。

さくらを運営しながら、かわいい幼子さん達の笑顔を一日に何度も見せていただくたびにこの名言が浮かび、無垢な笑顔以上の価値あるものはないと思ってしまいます。この笑顔の感情である「とても嬉しい」の英語表現を“tickled pink”と言います。直訳では「くすぐられてピンク色」、つまり子どもがくすぐられるとほっぺがピンクになってきゃきゃっと笑う状態です。毎日絵本・紙芝居の鑑賞や、体操教室、園庭やお部屋で繰り広げられるリトミックやしっぽとりなどのゲーム、どの瞬間をとっても多数の園児たちが「きゃきゃっ」と全身で笑いながら、駆け寄ったり、手をつなぎあったりで楽しく過ごし、その空間は明るさと幸福感でいっぱいです。近年の社会状況や想定をはるかに超える災害・事件を見るにつけ、この笑顔のエネルギーで世界を満たすことができればと思います。そして子ども達がこれから先の長い成長の過程で、まずは自らを幸せで満たすことができれば、周囲へも同じ幸せをもたらしてくれると信じています。皆さまとご一緒に笑顔を大事に保ちたいです。どうぞよろしくお願い致します。

園長 山内 香幸